

坪枯れ発生！トビイロウンカに注意！！

1 泉北地域でトビイロウンカによる坪枯れが発生

令和4年9月13日、堺市、和泉市の複数の水田でトビイロウンカによる坪枯れが確認されました。現時点では令和2年のような大規模な発生ではなく一部水田のみです。しかし、トビイロウンカの発生が無いように見える水田でも、これから収穫期にかけて、株元で増殖していたトビイロウンカの吸汁により急激に枯れ込んでくる可能性があります。

府内10カ所の水田で定期的に行うほ場調査では今年度はトビイロウンカの発生は確認していません。

しかし、予察灯3カ所（枚方市、岸和田市、羽曳野市）のうち、羽曳野市の予察灯では6月中旬から断続的に誘殺を確認しています（図5）。府南部の水田では特に注意しましょう。



図1 トビイロウンカによる「坪枯れ」被害（R2）



図2 株元に発生するトビイロウンカ



図3 トビイロウンカ長翅型成虫 図4 トビイロウンカ短翅型成虫

箱施用剤や本田防除剤の効果が不十分だと、残存したトビイロウンカが増殖している可能性があります。

トビイロウンカは飛来したメスが産卵し、その次世代が同心円状に増殖・拡大していく特徴があり、水田内で局所的に発生します。水田の一部だけでなく広範囲にわたって株元を観察し、トビイロウンカの発生の有無を確認する必要があります。

今一度、自分の水田を観察して、発生を確認したら速やかに防除しましょう。

今後も引き続き、本田での発生や当グループ・JA等からの情報に十分注意してください。

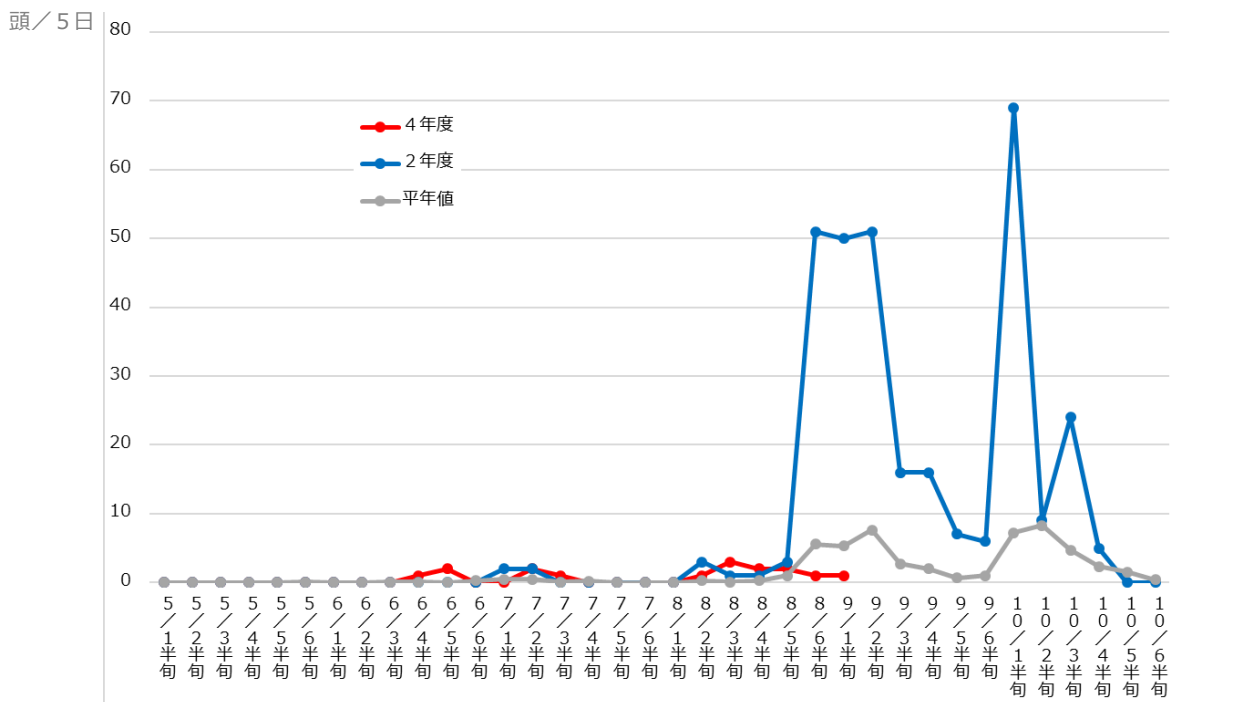


図5 予察灯（羽曳野市）トビイロウンカ半旬別誘殺頭数推移

2 防除対策

◆病害虫防除グループホームページ <http://www.jppn.ne.jp/osaka/>にてトビイロウンカの生態や防除を解説したカラー技術資料「**水稻 トビイロウンカの防除 改訂版 R4.3**」および「**令和4年版大阪府病害虫防除指針**」を公開しています。

- トビイロウンカの発生を確認した水田や近隣の水田で坪枯れが生じていた場合は下表を参考にすみやかに防除してください。

表 トビイロウンカ本田施用剤（例）

※太字の剤はウンカに対する比較的新しい有効成分を含む

種類	農薬名	使用時期	成分数	トビイロウンカに対する有効成分	IRACコード
殺虫剤	エクシード粉剤DL	収穫7日前まで	1	スルホキサフロル	4C
	エクシードフロアブル	収穫7日前まで	1	スルホキサフロル	4C
	エミリアフロアブル	収穫7日前まで	1	フルピリミン	4F
	スタークル(アルバリン)粒剤	収穫7日前まで	1	ジノテフラン	4A
	スタークル豆つぶ	収穫7日前まで	1	ジノテフラン	4A
	スタークル(アルバリン)粉剤DL	収穫7日前まで	1	ジノテフラン	4A
	トレボン粉剤DL	収穫7日前まで	1	エトフェンプロックス	3A

(令和4年8月現在)

※現時点でウンカに対する比較的新しい有効成分を含む粒剤はありません。新型剤は粉剤やフロアブル剤になります。

各農薬はラベルの登録内容、使用上の注意をよく読んでから用法・用量を守って使用してください。